

# 神奈川県立厚木西高等学校

## 令和6年度 第1回学校運営協議会 議事概要

日時 令和6年6月12日(水)

15:10~15:55

場所 厚木西高等学校 会議室

### 1 開会

- (1) 校長挨拶
- ・入学式について
  - ・西翔祭体育の部について
  - ・令和6年度「重点課題高等学校版」「サポートブック」について
  - ・ICT利活用、コンプライアンス、教員の働き方改革等について
- (2) 学校運営協議委員の委嘱、紹介
- (3) 役員選出(敬称略)・会長：鈴木正一様 (この後、出席協議会委員自己紹介)

### 2 報告・協議事項

- (1) 令和6年度 厚木西高等学校の学校経営について(グランドデザイン、  
スクールポリシー、学校教育計画)
- ・学校からの説明、共有。
- (2) 令和6年度 学校目標について
- ・各グループ代表からの説明、共有。
- 【学習支援G】
- ・全学年新学習指導要領となるので、本校の課題を探る。
  - ・学習指導要領で定められた3観点について、効果と課題を各教科で研究しながら授業改善を行う。
- 【生徒支援G】
- ・生徒一人ひとりの支援を組織的に行っていく。
  - ・困り感のある生徒に対して、SCやSSW、外部機関等と連携を進めながら対応していく。
  - ・生徒指導においては、個別対応で効果的な指導を進めていきたい。
- 【進路支援G】
- ・生徒の自己実現に向けて、主体的な進路選択の実現を図る。
  - ・生徒が前向きな姿勢を持って、進路実現に取り組めるよう効果的なICTの利活用を進める。
  - ・特別募集生徒については、関係各機関と密に連絡を取り、それぞれ個別に応じた体系的な学習、或いは就職について取り組んでいく。
- 【活動支援G】
- ・今年度も引き続き、生徒とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、生徒主体の活動をしっかりと支えていく。
  - ・今後は、西翔祭文化の部、球技大会等があるので、多くの生徒が自分で考えて活動ができるよう支援していきたい。

【地域・共生 G】・今年度も学校の魅力をしっかりと発信していきたい。  
・地域との連携、協働について新たな方法を模索していきたい。

【管理運営 G】・安心、安全な教育環境づくりの推進。  
・エコの観点から、省エネ・省資源の推進。（節電、会議等の  
ペーパーレス化）  
・防災訓練を含めた防災教育の推進。

(3) 令和5年度 学校評価のまとめについて

・学校からの説明、共有。

(4) 令和6年度 学校運営協議会活動について

・学校からの説明、共有。

第2回運営協議会－令和6年11月27日

第3回運営協議会－令和7年3月11日を予定。

(5) 令和5年度 学校運営協議会活動報告

・学校からの説明、共有。

(6) 令和6年度 不祥事ゼロプログラム(案)について

・学校からの説明、案の通り承認。（案）の文字削除。

(7) 厚木西高等学校における学校運営協議会の傍聴要領について

・学校からの説明、共有。

(8) 令和6年度 年間計画について

・学校からの説明、共有。

(9) その他 各委員からご意見や質問など（敬称略）

【委員】・地域との協働、生徒の実践的な学習とスキルを支援するが、実践的な学習、  
実践的なスキルとはどういうものか？また、どのような力を付けさせたいの  
か？

→特にこれというものを決定しているということではありません。生徒が  
どのような力を身につけて、どのように生きていきたいのかということ  
を考えた上で、今できることは何か、どのような力を身に付けていきたい  
か、ということを考える事を、生徒に知ってもらいたい。

【委員】・サポートドッグ 地区ごとにSC，SSWのアドバイザーが配置されている  
ようなので、うまく使えると良い。

・省エネで数値目標は良いが、昨今の暑さから、無理しないで使って欲しい。  
防災訓練では、厚木市の小中学校は、3.11があった翌年に防災士の方を  
招いて、防災訓練の実施方法についての指導を受け見直した経験があります。  
参考になればとお話ししました。

→ありがとうございます。参考にさせていただきます。

省エネでは無駄なエアコン使用、扇風機使用とならないようにという取り  
組みとしたい。

【委員】・地域に住むものとしての質問ですが、学校における防災教育は、学校にいる時に、生徒達がどんな行動を取ったらいいのかという観点でお話されているのか。また、地元にいる時に自分は社会の一員としてどう行動を取ったらいいのか、という観点を入れられているのか？

学校の中で地震が起きました、学校行った時にどう逃げましょうというやり方や、住民の一員としてという事を伝えるやり方もある。もう少しやり方が具体的にあるかと思います。

→専門家であれば、こういう時はこうやった方がよいとか言えるのですが、まだそこまでの知識もないので、我々も色々と調べながらやっていきたい。

【委員】・スクールミッション グラウンドデザインなどでの地域の実情をどう捉えているのか？

→小学校、中学校だけではなく、地域の自治体の方や自治会組織等との関わりが本当に多い地域です。それぞれの県立学校がそれぞれの地域にあり、厚木西高校では、厚木市との関わりの中で、どのような形で自分達高校生の役割を意識し、また社会の一員としてできる役割は何かを考えてほしいと思っています。きっと何かあると思います。そういった意味で、厚木西高校の生徒の1人として、或いは教員の1人として地域と関わることはとても大事だと思います。

それから民間企業の方たちとの連携であったり、研究機関との連携であったり、大学との連携であったりと生徒にとって社会との接続に繋がられる方策は沢山あると思いますし、そういった事を見つけられる地域だと考えています。

【司会】・本日はありがとうございました。今後ご質問などがありましたら、メールで送っていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

この後、各部会よろしく願いいたします。

### 3 その他

第2回学校運営協議会 令和6年 11月27日(水) 午後予定

第3回学校運営協議会 令和7年 3月11日(火) 午後予定

詳細は後日ご連絡いたします。

### 4 閉会

出席委員(敬称略)

内山 崇行	厚木西高等学校 PTA会長
大木 俊雄	日産自動車 R&D 総務・ファシリティマネジメント部 主担
大関 進也	神奈川県央地域若者サポートステーション 相談員
松田 拓也	厚木市立森の里中学校 校長
大塚 敏男	株式会社 アマダプランテック 統括リーダー
杉山 仁	厚木市立森の里小学校 校長
鈴木 正一	神奈川工科大学 学生支援本部 学生サポート室 研究主幹
永嶋 信一	森の里地区地域福祉委員会 委員長
原田 充治	森の里自治会連絡協議会 会長
澤田 裕	厚木西高等学校 校長